



令和5年8月 生育・病害虫情報（野菜）

令和5年8月21日

JAあきがわ営農支援センター

この情報は JA あきがわ管内の複数の特定圃場を巡回して、生育や病害虫発生状況を調査したものです。

サトイモ	7月～8月上旬の高温少雨の影響で葉の縁枯れや巻きなど、干害 ^{かんがい} の症状が多く圃場でみられます。生育も不良傾向です。	
ネギ	ネギアザミウマの被害と寄生が多く圃場でみられます。黒斑病と思われる症状がほとんどの圃場で確認されています。	
ナス	生育は高温少雨の影響で全体的に劣る傾向で、下葉が黄化している圃場が散見されます。降雨の状況を見て追肥を行ってください。病害虫ではタバコノミハムシの被害がみられます。	
その他	スイートコーンは出荷量が少なくなり、雌穂の肥大や先端部・基部の捻実が劣る傾向です。ピーマンは一部の圃場で干害 ^{かんがい} と思われる萎れ ^{しお} 株がみられます。ショウガは葉先枯れがみられ、地上部の生育は劣る傾向です。	 <p>ショウガ</p>

関東甲信地方1か月予報(8/19~9/18)：気象庁8/17発表

「平均気温は高い確率が80%です。期間の前半は気温がかなり高くなる見込み。降水量は平年並みが40%」→**気温が高く経過する予想です。**引き続き**農作物の管理や作業中の熱中症**に注意してください。